

当センターを受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (研究番号)	回復期病棟退院時の失語症者における職業復帰の状況と関連要因の検討 (医療 4-29)
当院の研究責任者 (所属)	雨宮 将洋 (あめみや まさひろ) (千葉県千葉リハビリテーションセンター 成人言語聴覚科)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	該当者はいません。
本研究の目的	<p>脳卒中患者において失語症は職業復帰を困難にする要因の一つと指摘されています。脳卒中患者の中で発症時に就労していた方の職業復帰(復職)率は、6割程度と報告されています。一方、失語症者の復職率は2~3割程度といわれ、失語症は復職を困難にする現状があります。しかしどのような要因が影響するか不明な点があります。また失語症者はコミュニケーションに問題が生じるために、復職過程の中で自身の障害特性を事業所や企業に伝達して配慮を呈示することは難しく、適切な情報提供の支援が求められると考えます。</p> <p>本研究は失語症者の退院後支援の充実のため、発症時就労していた失語症者の回復期病棟退院時の概況を調査し、復職の状況と復職に至らなかった要因を明らかにすることを目的としています。</p>
調査データ/該当期間	2013年1月1日から2022年12月31日に当センターに入院し、退院された失語症者
研究の方法 (使用する試料等)	対象となる失語症者の診療録を後方視的に閲覧し、年齢、性別、家族構成、原因疾患、麻痺側と重症度、発症から退院までの日数、FIM、損傷部位、失語重症度(標準失語症検査の総合評価法得点)、レーブン色彩マトリックス検査、職種と企業規模のデータを利用します。上記データを用い、失語症者の復職に至らなかった要因を明らかにします。
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	特記事項はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者様を直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者様個人が特定される情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	特記事項はありません。
お問い合わせ先	電話: 043-291-1831 (千葉県千葉リハビリテーションセンター代表) 担当者: 成人言語聴覚科 雨宮 将洋 (あめみや まさひろ) 内線 350
備考	